

## 今週のビルマのニュース 2009年3月6日号【0909号】

### 今週の主なニュース：ASEANサミット終了

・タイで開かれたASEANサミットが1日に閉幕した。議長声明はビルマについて、「2010年の総選挙を前に、政治囚を解放し、すべての政党に政治手続きへの参加を認めれば国民和解が進むだろう」と述べた。また2月27日に開かれたASEAN外相会議では、タイやインドネシアで漂着しているロヒンギャ移民について、特別委員会を設置し解決策を協議することで合意した(1日付議長声明、28日付東京新聞ほか)。

・ビルマ軍政のテインセイン首相が、2010年に予定している総選挙の際に国連の選挙監視団などを受け入れると述べたという報道があった。バンコク・ポスト紙は、ASEANサミット開催中に首相がアピシット・タイ首相に語ったとした。これについて民主化支援関係者は「選挙監視団の話をする前に、軍政はすべての政治囚を解放し、2008年憲法の内容を見直すべきだ」と述べた(2日付イラワディ誌)。

・軍政はまもなく定例会議を開く予定で、会議終了後に総選挙実施の詳細について公式な発表が行われる可能性がある(4日付ミジマ)。また、軍政の大衆翼賛団体である連邦連帯発展協会(USDA)が総選挙に参加するためまもなく新たに政党を結成するという情報もある(5日付イラワディ誌)。

### その他：サイクロン被災地域で水不足、ほか

・昨年5月に襲来したサイクロンによる塩害の影響で、イラワジ・デルタのラプッタ郡の20村以上で真水が不足している。現地で活動する援助団体によれば、支給される水だけでは足りず、住民の多くが海水が混ざった水を使っているとのこと。水不足は雨季が始まるまで続く見込み(2日付イラワディ誌)。

・最大都市ラングーン(ヤンゴン)で3日、2か所で爆弾が爆発した。被害は小さく負傷者もなかった模様だが、当局は住民に警戒を呼びかけた(5日付AFPほか)。

・国際労働機関(ILO)と軍政は2月27日、ILOがビルマに事務所を置き、強制労働をさせられた被害者からの申し立てを受け付ける取り決めを1年間延長した。ILOによれば、ビルマで強制労働は依然として広範に行われている(27日付DVB)。

### ビルマへの政府開発援助(ODA)約束状況など 新たな発表はなし

### イベントなど

・在日ビルマ人共同行動実行委員会アクション - 国連事務総長に対し、一刻も早くビルマを訪問し、スーチーさんを含むすべての政治囚の釈放と対話の促進を軍政に働きかけるよう要請するアピール行動(国連大学前、2~6日15~16時)

・新 拓生 写真展『黙殺の視線 - Shan state of Burma』(大阪ニコンサロン、5日~11日)

・ドキュメンタリー「ビルマ、パゴダの影で」水戸上映会 アムネスティ水戸グループ主催(水戸市あむねすみと2F、3月8日13時半開場、14時開演)

・第3代国連事務総長ウ・タント生誕100周年記念祝典 BDA・AaharaSazaungほか主催(みらい座いけぶくろ(豊島公会堂)、8日17時半~)

・メコン談話室「サイクロン襲来のその後~イラワジ・デルタからの声」講師：ヴォラウィット・スワンニキット医師(ジョンズ・ホプキンス大)(特活メコン・ウォッチ事務所、11日18時45分~)

・国際会議&パブリック・フォーラム「地球市民社会とビルマ/ミャンマーの平和的変革 -現状と課題-」(名古屋大学、13~15日)

・ビルマ人権の日記念デモ行進「ビルマに自由と人権を!(仮題)」在日ビルマ人共同行動実行委員会主催(五反田南公園集合、13日14時~)

・ビルマ人権の日特別講演会『ビルマから日本の皆さんへ-獄中からの声~元政治囚アウンディン氏(仮題)』(東京・総評会館、19日18時半~)

・日本ビルマ救援センター 月例ビルマ問題学習会「ビルマ語講座入門編」講師：遠藤茜氏(大阪市・谷七、19日)

### もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)  
<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo>

ビルマ情報ネットワーク  
<http://www.burmainfo.org>

### お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀  
[yuki@burmainfo.org](mailto:yuki@burmainfo.org) 080-2006-0165